



Famio News

第60号

福島県鉄工機械工業協同組合

広報委員会



tekkou.or.jp

目次

理事長挨拶	2
交流懇談会	3~6
視察研修会	7~9
組合事業報告	10
青年部会より	11~12

いつも組合活動にご協力いただきましてありがとうございます。

本年度の総会で理事長に就任以来、あっという間に年末となりました。

コロナ禍の影響も少なくなり、多くの会合がコロナ前のように対面で開催されるようになりました。

可能な限り出席いたしておりますが、なかなか全てに出席とまではいかず、申し訳なく思っております。



さて、最低賃金が引き上げられるも受注単価は変わらずという企業も少なからずあると思います。実際のところ、下請け側から単価値上げの交渉を切り出すのは容易な事ではないのは誰でも感じていることと思います。組合としても価格転嫁セミナーを開催しておりますが、講演の内容の通りに親企業に要望を出すのは難しいのではないかと感じています。

しかし、これだけ社会情勢が賃上げに動いているのですから、増収増益な親企業の下請け企業が、最低賃金や値上がりしている経費の為に利益が目減りしてしまうのはアンバランスな状態であると感じます。最近では価格転嫁セミナー等の案内が各団体から来ていますので、それらに参加して鉄工業界でも有効な方法が無いのか勉強していきたいと思っております。

話は変わりますが、先月末に経営研究委員会主催で福島原発の視察に行ってきました。詳細は永澤委員長からの報告が載っていると思います。私は2019年にも一度視察に行っていますが、その時は「どうして被害を受けた福島県民が見学に行くのか？」と半分疑問を持ちながら参加したのですが、行って見て感じたのは事故当時、津波によって電源喪失した中央制御室や、その後人手に頼らざるを得なかったベント操作等々命がけで爆発を回避しようとした東電の人達も被害者であると知りました。

今回行って見て、もちろん前回と比べると具体的な廃炉計画が進んでいるようですが、我々が生きている内にすべてが元通りになるような簡単な作業では無く、これからも高い線量下で作業を続けていく作業員の方々にも感謝の念がわきました。福島原発の廃炉作業は福島県民こそがしっかりと見守らなければならないと思いました。

最後になりますが冒頭書いた通り対面での会議は問題なく行える状況に戻ったと思えますので、2025年も各委員会の更なる活動のご協力をお願い申し上げます。

■ 福島市との交流懇談会が開催されました

令和6年8月23日(金)、福島市商工観光部と当組合との交流懇談会がホテル福島グリーンパレスにおいて、総勢29名参加のもと、開催されました。

始めに当組合の各業種代表者より現状を報告し、続いて福島市商工観光部 企業振興課長 出口様より、福島市の支援事業についての説明がなされました。

懇談会終了後には会場を移して納涼会が開催され、福島市商工観光部の方々や組合員同士で親睦を深めました。

◎座談(座長 星野理事長)

(1) 当業界の現状について

○板金業	(株)永沢工機	取締役会長	永澤 俊二 氏
○設備・機械据付業	伊藤建設(株)	代表取締役	伊藤 滋 氏
○製缶業	(株)羽田工業所	代表取締役	黒田 容 氏
○一般機械加工業	(株)NAKANO	代表取締役社長	中野 朗宏 氏
		(鉄工組合 青年部会員)	
○機械器具卸売業	(株)エイティック	代表取締役	熊倉 太郎 氏
○組合共同受注事業	福島県鉄工機械工業(協)	専務理事	石井 稔 氏
○福島県内一円の現状	福島県鉄工機械協同組合(連)	会 長	澁谷 修一 氏
○業界総括	(有)藤橋歯車鉄工所	取締役会長	藤橋進一郎 氏



(2) 福島市の支援事業について【資料抜粋】

◆新たな産業未来ビジョンふくしま～未来を創る強靱な産業の育成に向けて～ 基本方針① ⇒ 「産業のグレードアップ」

(重点戦略) ①新産業の創出、②工業の振興、③商業の振興

基本方針2 ⇒ 「持続可能な産業の振興」

(重点戦略) ④ポストコロナへの対応、⑤SDGsの推進、⑥ニューテクノロジーの導入

基本方針3 ⇒ 「産業人材の育成」

(重点戦略) ⑦安心して働くことができる場の確保、⑧ものづくり技術の継承、
⑨ふくしまスタイルの新しい働き方を推進

◆商工業者のための支援事業のあらし（福島市の各種支援事業を紹介）

1. 融資を受けたい
2. 空き店舗等を活用したい
3. 創業したい
4. 組合で活動したい
5. イベントを行いたい
6. 人材の確保・育成を行いたい
7. 新しい事業に取り組みたい
8. 事業の基盤を強化したい
9. 事業所を設置したい
10. 本社を移転、支社オフィスを開設したい
11. 福利厚生を充実させたい … など



◆中小企業振興プログラム

福島市中小企業振興基本条例に定める施策の基本方針を具現化するための施策の体系、主要な事業及び成果指標を明らかにするもの。中小企業の経営者・団体や学識経験者で組織する中小企業振興会議の意見を聞いて策定。

【事業の区分】

1. 経営の革新・向上・改善・経営基盤の強化及び販路拡大。
2. 創業と承継、経済的社会的環境の変化への適応。
3. 企業間または企業と各機関等との連携及び協力。
4. 児童・生徒の勤労観及び職業観の醸成と人材の確保、人材の育成。
5. 健康増進・福利厚生の充実、子育て支援。
6. 地場産品等の地元消費と利用拡大、地域資源の発掘・活用と産業連携。
7. 観光の振興、定住人口の保持と交流人口の拡大。
8. 企業立地の促進、医療福祉連携産業等の集積。

◆産業支援コーディネーター

産業支援コーディネーターが企業訪問等を通じ企業の現状や要望・課題などを的確に把握し、各種支援を行っている。

- ・福島市産学連携推進事業のPR。
- ・市内企業のニーズ調査、各種支援事業の情報提供。
- ・大学等研究機関のシーズ調査。
- ・産学支援機関のネットワーク構築。
- ・産学連携による新規プロジェクトの創出。
- ・企業間のマッチング支援、事業承継コーディネーター。 …など

◆ふくしま企業支援ニュースレター（登録・配信：無料）

企業の皆様に役立つ様々な情報を電子メールで配信している。

【時期】月2回(1日(月初め)、15日(中旬))

【内容】福島市や関係機関の支援事業、セミナー等の市や関係機関のイベント、その他、各種情報

◆福島おおぞらインター工業団地

第2期(分譲面積約16ヘクタール)を造成中。造成完了の区画より分譲予約を開始受付予定。

◆企業立地助成制度

4つの助成制度で福島市への立地企業を支援。

- ①用地取得助成制度 ②操業奨励助成制度 ③雇用奨励助成金 ④転入支援助成金

◆生産性向上のための設備投資を支援(先端設備等導入計画)(令和7年3月末まで)

労働生産性の向上や賃上げを実現するための先端設備導入計画(設備投資計画)の認定行い、税制面(固定資産税の軽減措置)等から経営基盤の強靱化を支援している。

税制支援措置：固定資産税の課税標準を1/2に軽減(3年間)

(従業員に対する賃上げ方針の表明がある場合は1/3に軽減(最長5年間))

※税制支援は投資利益率5%以上になる事が見込まれることが要件。

※令和6年3月末までに取得した場合は5年間、令和7年3月末までに取得した場合は4年間

◆中小企業融資制度（ゼロカーボン資金融資）

ゼロカーボンの取り組みを促進するため、再生可能エネルギーや省エネルギー設備などの開発資金や設備導入経費を資金融資で支援する事業。

融資額：1企業 5,000万円以内（開発資金枠、導入資金枠を合わせた利用限度額）

◆公民こねくと（ふくしま公民連携窓口）

民間事業者との積極的かつ柔軟な連携支援、連携・支援を可能とする市独自の多様な仕組み。

◆ふくしま新製品・新システム応援事業

市内企業が開発・製造した製品を市が購入して活用する。

- 市が活用したり事業所等に無償貸与して新製品を市全体で応援
→製品の注目度が増し、取引先の拡大に期待
- 新製品を利用した感想や改善点を企業へフィードバック
→製品のブラッシュアップ。その先の販売促進に期待



製品開発のチャレンジを市全体で応援することで、ふくしまならではの産業の活性化を図る

◆後継者育成事業（次世代夢創塾）

中小企業の後継者を対象とした育成塾を実施し、将来を見据えたマネジメント能力を養い、異業種間交流による横断的なネットワークの構築や仲間づくりなど、後継者の育成を支援。

- 【基本クラス】中小企業の後継者を対象に開催（内容：専門講師による講義、報告会）
- 【マスタークラス】基本クラスの卒塾生を対象に開催（内容：塾生自ら企画・立案）

◆就職応援ポータルサイト「えふWORK」（掲載：無料）

福島市を含む県北地域企業の魅力を学生・求職者に知ってもらうために、企業紹介掲載企業を募集中。県北地域で働きたい方へ向け、就職情報や地元企業の魅力を積極的に発信している。

◆企業向け外国人材活用【ファーストステップ相談窓口】

外国人材の活用のための相談機関や助成金に関する情報提供等。

（外国人材活用のメリット）

1. 優秀な人材の確保、2. 社内の活性化委、3. 組織の成長につながる、4. 海外進出

（対応内容）

- ・外国人の雇用に関する相談窓口の情報提供。
- ・外国人の生活支援に関する相談窓口の情報提供。
- ・外国人材の活用に関するセミナー・イベントの情報提供。
- ・外国人の雇用に関する助成金の情報提供。
- ・外国人材活用に関する手続きの流れなどの一般的な説明。 …など

※個別具体的な内容については、専門の相談機関をご案内

◎交流懇談会の資料をご希望の場合は組合事務局までご連絡をお願いいたします。

◎上記内容について福島市へご相談等がある場合は担当部署へ連絡を取りご紹介申し上げますので、お気軽に組合事務局までご連絡下さい。

■令和6年度視察研修のご報告（経営研究委員会委員長 永澤俊二）

組合員の皆様におかれましては、年末を控えお忙しい毎日を送られていることと存じます。本年度の視察研修は、去る令和6年11月30日（土）、「震災遺構・浪江町立請戸小学校」、「フタバスーパーゼロミル（浅野燃糸）」、「東京電力福島第一原子力発電所」を見学し、11名の方にご参加いただきました。今回の視察研修で私が感じたことや考え等も含めてご報告申し上げたいと思います。

震災遺構・浪江町立請戸小学校は、2階の床上10センチまで津波が押し寄せ、建物の1階はすべて浸水した為、床や壁が崩壊し天井は崩れ落ちたままで当時の状況を間近に見ることができるよう一部を除いて開放されていました。改めて津波の脅威、被害の甚大さを感じ、小学生全員が無事に避難できたのは奇跡のようで、先生たちの迅速な判断と決断により大切な命を守れたと感じました。

フタバスーパーゼロミルで見学した浅野燃糸は岐阜県の会社で、双葉町に進出してきた工場です。新素材を開発した特殊タオルを作っており、発想力・開発力・営業力にかなりの実力を備え、我々も参考にすべき点が多くありました。



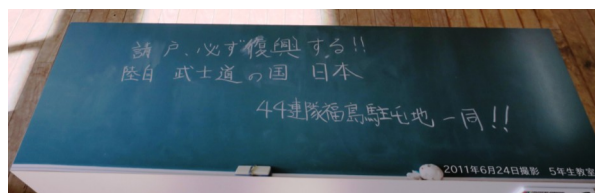
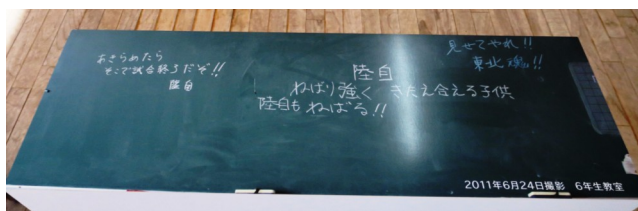
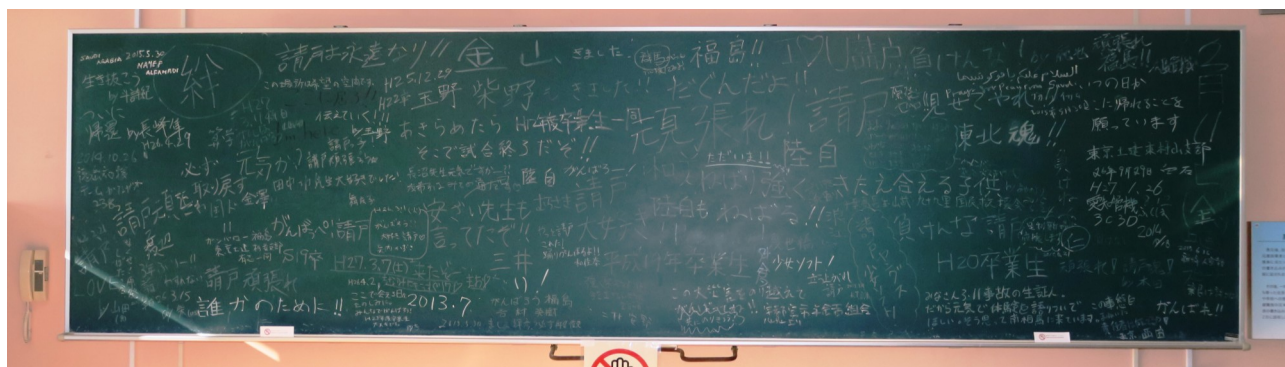
東京電力福島第一原子力発電所では、原発の水素爆発はかなりの破壊力があつたことを目の当たりにしました。廃炉に向けて作業が進められていましたが、全面的な収束には30年以上かかる見通しだそうです。この原発事故は、福島県全体に甚大な風評被害をもたらしました。その被害は、漁業、農業、旅館・ホテル・宴会場、その他、何年にも渡っております。事故の原因は、津波により海水が電源室に入ったことで非常用電源が発電不能となり、炉心棒を冷やすための冷却水を供給するポンプの能力が失われたことにあります。これにより炉心が過熱され、メルトダウンに至り、水素ガスが発生し、1号機が爆発を起きました。2号機では原子炉建屋上部側面のパネルが1号機の爆発の衝撃で開いたため、水素が外部へ排出され、爆発はまぬがれましたが大量の放射性物質が飛散したと考えられています。

私が疑念なのは、なぜ原子炉建屋と海の間電源室を備えたかということです。日本には原子力委員会があり、有識者会議があるのに危険性を指摘しなかったということは重大なミスです。聞くところによるとアメリカ方式を取り入れたということですが、日本とアメリカでは事情が違います。ほとんど地震の起きない国と地震列島の日本では全て状況が違うはずなのに、何のための原子力委員会なのか全く理解できません。爆発の後には政府も東電も右往左往し、安全確保の名目で過剰規制に走り、住民に多大な損害を与えました。それは、現在にも至っています。安全基準が、IAEAに規定された安全基準の1/10を目指し規制されていますので、少しでも上回れば数字が高いと大騒ぎをします。放射線の危険度はマスコミで報道されているより低いのです。放射線は自然界に存在し、高所ではかなり高くなっているため、宇宙飛行士・旅客機のパイロットや乗務員は常に高い放射線にさらされています。また、病院では放射線技師がMRI・レントゲン・CT等を常に使用しています。ネパール・チベット等も高い放射線を常に浴びています。人間は意外に放射線に強いのです。改めて、今回の原発の爆発で直接亡くなった方は一人もおりません。過剰反応に何兆円ものお金が使われています。真実を見る力を養い行動することが大事でしょう。



◇ご参加いただいた皆様のご感想を一部ご紹介いたします(アンケートより)

- 震災遺構、浪江・双葉・大熊等マスコミ等では目にしていたが、実際に現地に行ってみて改めて大変な事だったのだと感じた。東電の事故も廃炉まで30~40年かかるという事も実感した。震災はいつ起こるか分からないが、その時の備え、心構えが必要と強く思う。
- 同じ県内ではあるが、実際に中に入ると知らない事ばかりで、気付かされた事がたくさんあった。



■親善委員会より

先に開催された親善委員会において本年度の事業について協議の結果、下記の通りボウリング大会を開催することが決定いたしました。新型コロナウイルスの影響により7年ぶりの開催となりますが、組合員企業(従業員)の皆様にご参加いただき、組合員企業同士や従業員の皆様が楽しく交流できればと考えております。

なお、詳細につきましては追ってご案内申し上げますので、よろしくお願い申し上げます。

記

日時:令和7年3月14日(金) 19時スタート

場所:ラウンドワンスタジアム福島

■組合事業報告・予定

開催日	事 項
R6. 7. 17	経営研究委員会
7. 20	福島県商工中金会 役員会・通常総会・講演会
8. 6	第5回理事会
8. 17	有限会社高橋工作所 代表取締役ご祖父様 高橋俊夫様 通夜
8. 23	福島市商工観光部との交流懇談会
8. 28	福島商工会議所 工業部会
9. 6	自由民主党福島県議会議員会 各種団体要望聴取会 (連)
9. 10	親善委員会
9. 13	組合未来構想委員会
9. 15	自由民主党福島県支部連合会 自民党総裁選挙 総裁候補者所見発表講演会
9. 19	共同受注委員会
10. 2	第6回理事会
10. 2	第69回福島県溶接技術競技会表彰式
10. 8	第1回ふくしま知財戦略協議会 (連)
10. 12	亀岡よしたみ後援会 緊急役員幹部会
10. 17	共同受注委員・広報委員会 合同委員会
10. 19	亀岡よしたみ 総決起大会in福島
10. 21	組合トップセミナー (連)
11. 26	福島県中小企業団体中央会 第1回常任理事会 (連)
11. 26	福島県電子機械工業会 視察研修
11. 27	元組合員 中尾 社長 中尾義美様 通夜
11. 30	視察研修
12. 13	第7回理事会
R7. 1. 6	福島市新年市民交歓会
1. 8	関係機関 新年挨拶回り
1. 17	(株)福島製作所協力会 理事会
1. 21	価格転嫁セミナー
1. 23	福島県商工中金会 新春講演会
1. 31	(株)福島製作所協力会 総会
2. 7	組合新年会
3. 14	親善ボウリング大会

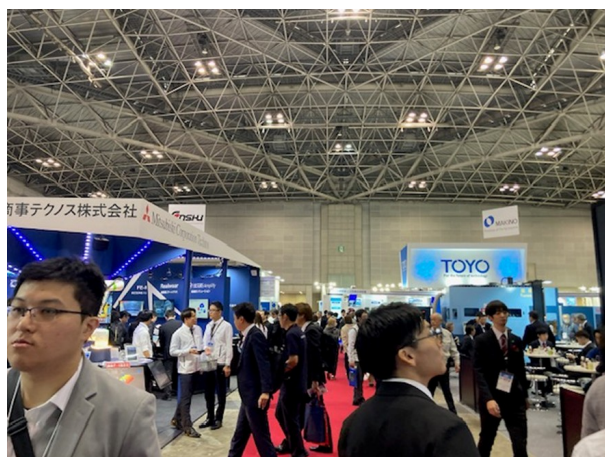
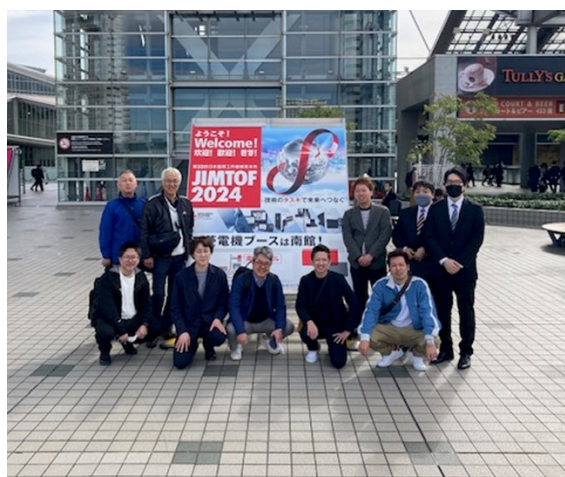
■青年部会 JIMTOF研修報告

令和6年11月8日～9日に東京ビックサイトで開催されている国際工作機械見本市へ参加して参りました。会員、OB会員合わせて、10名での参加となりました。長らくコロナ禍があり、なかなか研修もできない時期がありましたが、久しぶりの青年部でJIMTOF研修を実施する事が出来ました。

東京ビックサイトでは、例年通り多くのメーカーにより工作機械や工具等、最新の機械やテクノロジーを展示披露しており、参加メンバーは各々の視点で見学が出来たと思っております。その中でも、昨今課題となっている省人化を目的とした機械や装置などが特に印象に残っております。日頃使用している機械や工具、システム等、改めて進化のスピードの速さを感じました。

夜には上野で懇親会を開催致しました。見学した事や日頃の仕事の事など、OBの先輩を交えて様々なお話をする事が出来て大変貴重な機会となりました。翌日には解散となりましたが、東京観光や、お土産を買って帰福となりました。

最後になりますが、見学してみて沢山の来場者がおり、こんなにも同業者がいる中で、我々青年部としてもしっかりアンテナを張って負けないように事業へ展開していかなければならないと改めて感じた研修となりました。



■青年部会事業報告・予定

7/19	勉強会	組合会議室	9名
8/3	納涼会	ふりこ亭	11名
8/23	福島市商工観光部との交流懇談会	ホテル福島グリーンパレス	4名
9/13	第2回定例会	組合会議室	8名
9/22	第11回青年部ゴルフコンペ	大玉カントリークラブ	11名
10/11	青年部三役会	組合会議室	4名
11/8	JIMTOF研修会	東京ビックサイト	10名
12/6	忘年会	灯り家	14名
1, 2月	定例会及び新年会	未定	

■青年部会員 募集のお願い■

青年部会では組合企業に限らず部会員を随時募集しております。48歳未満の後継者の方は、是非とも入会をご検討願います。

また、入会希望の方は組合事務局へお気軽にお問い合わせください。